

2020 - 4 - 10 発行

第 162号 令和2年 4月号



便り

社会福祉法人 北友会

# すずらん



〒310-0903

特別養護老人ホーム 渡里すずらん苑  
ショートステイ・デイサービス  
ケアプランセンター

水戸市堀町字北ノ前95番地  
TEL 029-257-9555  
FAX 029-257-9666

<https://www.watarisuzuranen.jp/> 編集者 石井 利明



写真撮影のためマスクをはずしておりますが、介護職員は常時感染対策のためマスク着用で職務にあたっております

春の訪れを告げる桃の節句。和心いっぱいの一時を楽しみました。

## 微笑んで、輝いて…渡里すずらん苑「ひな祭り」

「天平のをとめぞ立てる雛かな」(水原秋櫻子) 毎春、ひな壇に赤毛氈を敷き、お内裏様や三人官女を飾り付けると、いつものように、華やかな平安絵巻の世界が甦ります。

扇子に雪洞(ほんぼり)・御所車…そんな古の世界から約1千年、令和の時代はスマホに、LED照明、ハイブリッド車とすっかり生活様式が変わりました。



三月は、新型コロナウイルス問題のため、近隣保育園との「ひな祭り交流会」が中止となりました。暫くの間は、感染予防のため施設職員のみで出来るレクリエーションを工夫しながら、ご利用者様の元気作りに努めてまいります。



皆様方のご家庭にいらなくなった古新聞はごさいませんか？  
施設にて、色々とお重宝しますので、ぜひお譲り下さい。

いらなくなった新聞紙をお譲り下さい



なぜか心ウキウキ赤毛氈...



—すずらん喫茶3月4日—

新型コロナウイルス問題もなかなか収まらず、不安や閉塞感が漂う今日この頃。こんな時は、雛壇眺めて、古の世界へ想いを馳せるのも一案です。平安時代は雪洞に油を入れて照明に、車は牛や馬に引かせて等々；利用者の方から「昭和になってからも戦前までは照明はランプ生活だった」という話も出て盛り上がりました。

日本の風物詩...  
**すずらん苑のひな祭り**



四月の予定

- ◎ 唱歌クラブ
- ◎ 民謡クラブ
- ◎ カラオケ倶楽部
- ◎ 手作りおやつ
- ◎ 音楽会
- ◎ 出張理美容

※新型コロナウイルス問題が終息するまでは、感染予防に留意して、ユニットなどの小規模単位で行ってまいります。



菜の花や

月は東に

日は西に

蕪村

皆で桜の切り絵を作りました

新型コロナウイルス感染予防のため、花見外出を控えております。来年こそは、きれいな桜の花を見に行けますように！（デイサービス・三月二十五日）



皆で切り絵桜を作りました！



来年は本物の桜の木の下で！

笑顔広がる...バルーンアート

細長い風船をひねって動物や花など色々なものが出来る...

うさぎやチューリップから水戸ちゃんまであつという間に出来上がり。



—デイ・3月9日—



ユマニチュード復命研修会

ユマニチュードとは、フランス語で「人間らしさ」。介護の理念として、「ケアされる人」と「ケアする人」という一方的なものではなく、「関係」や「絆」を中心にとらえる考え方です。



認知症ケアなどに有効な技術として、見る、話す、触れる、立つの四つの柱を活用したコミュニケーション法の復命研修会を行いました。（三月九日）

\*ご寄付 岩崎 ゆり子 様

ありがとうございます



花

作詞 武島 羽衣  
作曲 滝 廉太郎

春のうららの 隅田川  
のぼりくだりの 船人が  
櫂のしずくも 花と散る  
ながめを何に たとふべき

見ずやあけぼの 露浴びて  
われにも言う 桜木を  
見ずや夕ぐれ 手をのべて  
われさしまねく 青柳を

錦おりなす 長提に  
暮るればのぼる おぼろ月  
げに一刻も 千金の  
ながめを何に たとふべき

